

【参考】

女性医師バンクのご紹介

女性医師のための無料求人紹介・相談窓口

～女性医師の”働く”を応援～



■女性医師バンクとは

日本医師会女性医師バンク（以下女性医師バンク）は、厚生労働省の委託受け、女性医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的として、日本医師会が2007年1月30日に開始した職業紹介事業です。

◇女性医師バンクの特徴

1. 求職者、求人者ともに費用はすべて無料です。
（登録・紹介～成立、就業後のサポートまで）
2. 対象者は日本全国の医師、医療機関で、日本医師会の会員でない方もご利用いただけます。
3. 専任のコーディネーターが一人一人の状況に合わせ、就業先をコーディネート。
4. 医師のアドバイザーが専門的な相談にも対応します。

◇日本医師会 女性医師バンク 運用状況

（2007年1月からの累計）

○求職登録者 累計 821名

○求人施設登録数 累計 3,014施設

○就業件数 累計 539件

■女性医師バンク 登録者状況（求職者）

図1 女性医師バンクに登録した時点の年齢

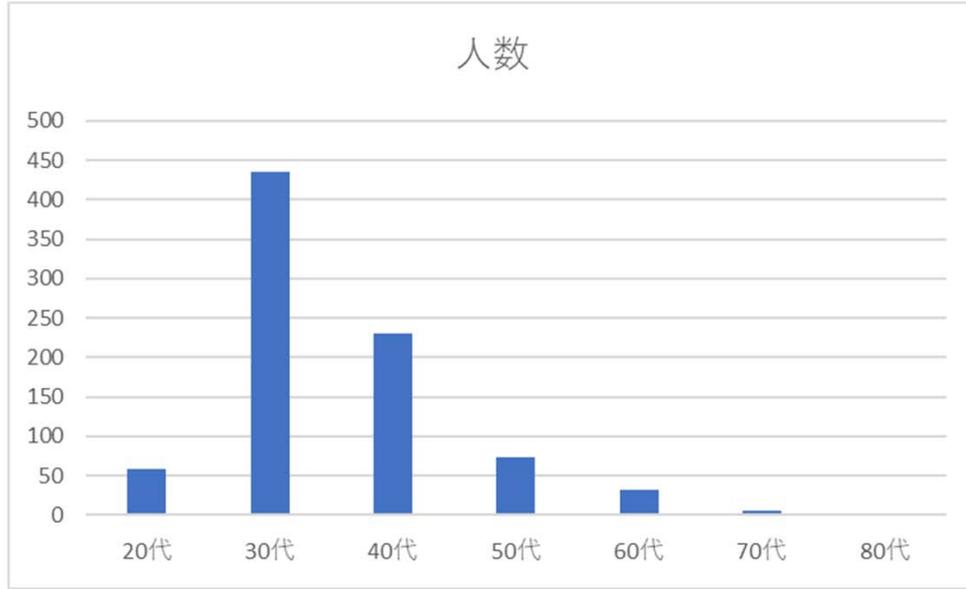
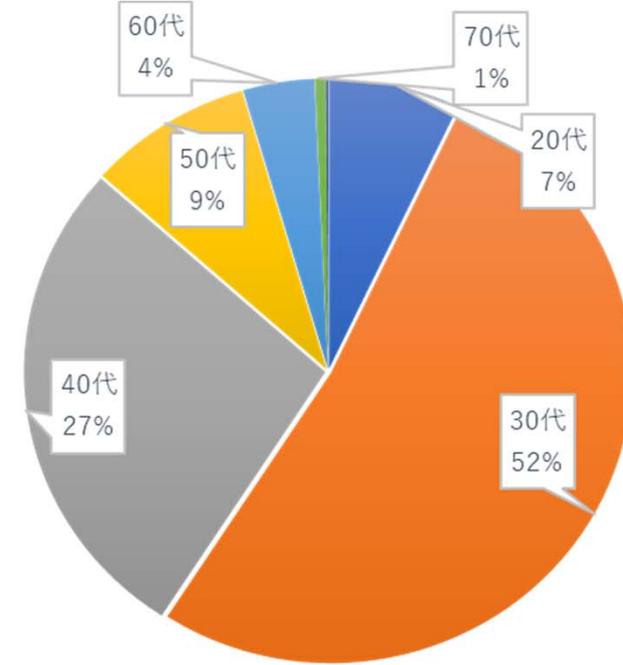


図2 登録者の年代別比率



※日本医師会女性医師バンク 平成29年2月現在

求職者の約5割は30代



出産・育児等ライフイベントの時期と重なる

近年では、50代の方のご登録も増加傾向

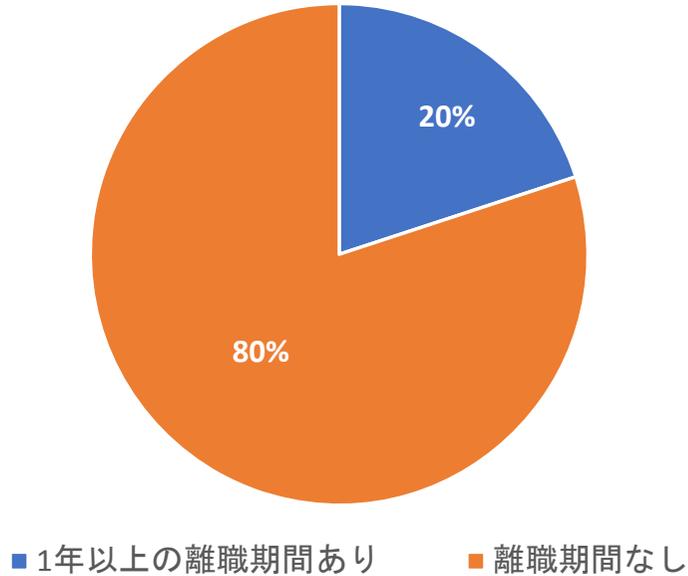


親の介護の問題なども出てくる年代

今後はますます多様な働き方を希望する女性医師が増えてくると予想されます。

■女性医師バンク 登録者状況（求職者）

図3 1年以上の離職期間のある求職者の割合

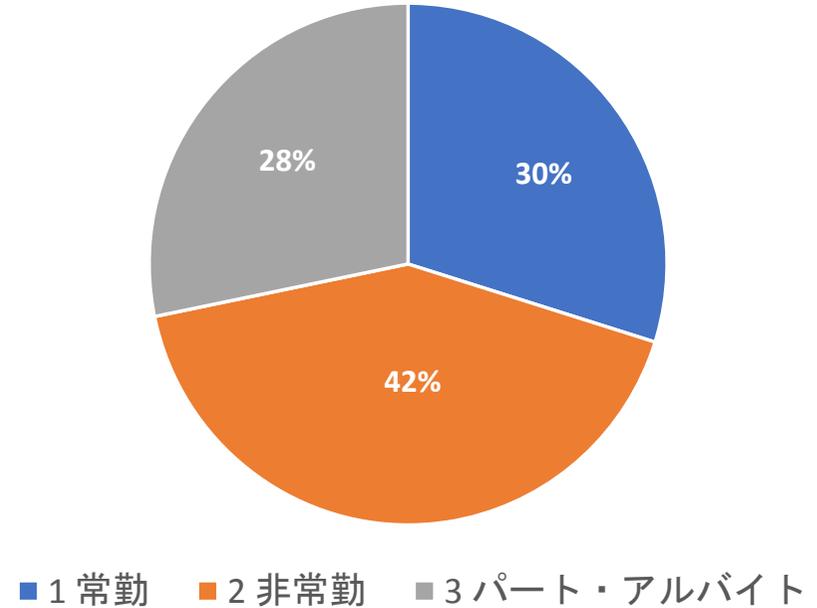


求職登録者の約2割が1年以上の離職期間があり再就職を希望して登録

離職期間のある求職者の平均的な離職期間は4.5年

➡復職を支援するためには再研修が必要不可欠

図4 希望勤務形態の割合



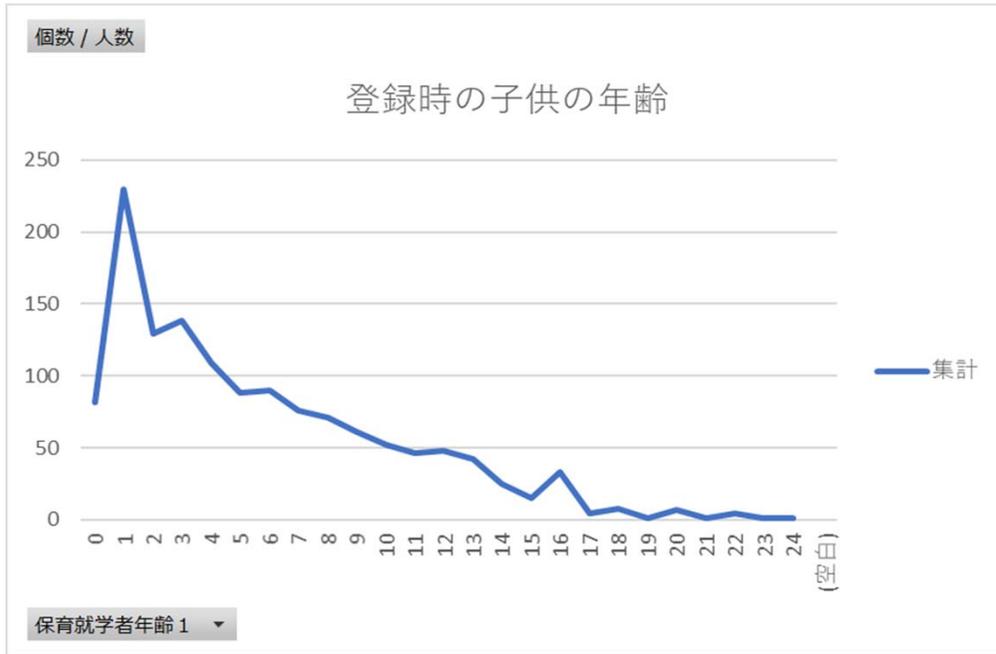
※日本医師会女性医師バンク 平成29年2月現在

全体の約7割が非常勤、パート・パートアルバイトを希望
➡ワークライフバランスを重視した結果と考えられる

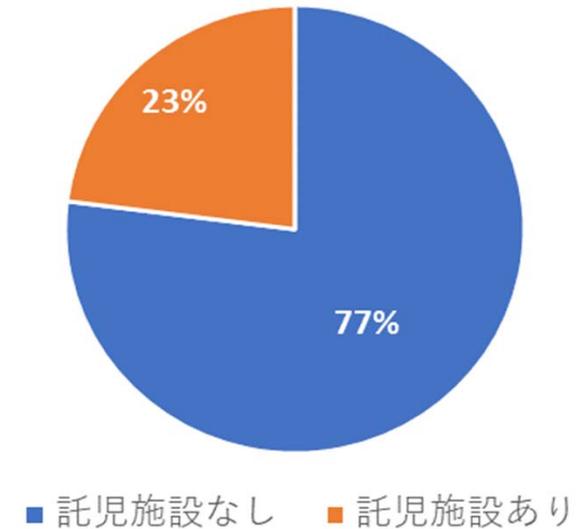
このような女性医師の活躍の場を広げることで深刻化している医師不足解消につながると考えられます。

■女性医師バンク 登録者状況（求職者）

図5



求人施設託児所保有率



※日本医師会女性医師バンク 平成29年2月現在

図5は求職登録時の子どもの年齢を人数で集計。

一番多い年齢は2歳。保育園、幼稚園にはいる段階での復職を希望される求職者が多く、非常勤やパート・アルバイトでの復職を希望される方が多いのも、保育園、幼稚園へのお迎えあるいは学校からお子さんが帰る時間に間に合うように働きたいとの理由が見受けられる。

しかし一方で、求人施設側の託児所保有率は約8割弱が未設置となっている。

➡ 子供の預け先をどうするかという問題についてはまだまだハードルが高いのが現状

■まとめ

○女性医師は子育てなど制限がある中でも活躍の場を広げるため、多様な働き方を希望している。

○医師として一番キャリアを積みなければならない時期と出産・子育ての時期が重なる女性医師は働き方に対する悩みが多岐にわたっており、女性医師が働きやすい環境整備が今後の課題である。

女性医師バンクでは、今後も女性医師が自身のライフスタイルに応じて活躍できるよう、求職者の希望に沿った就業斡旋に努めるとともに、施設側にも理解を深めてもらえるような広報活動、支援活動に取り組んで参ります。